

# 新規採用職員インタビュー



総務部 広報課 係員  
令和7年  
【一般職（行政）】

## Message 学生みなさんへ

私がこのパンフレットを見て興味を持ったように、皆さんにとって少しでも造幣局が魅力的だと感じるきっかけになれば幸いです。就職活動は迷ったり悩んだりすることもたくさんあると思いますが、広い視野で、多くの選択肢に触れてみてほしいです。その先で造幣局を選んでいただけたらとてもうれしく思います。

### ●造幣局を志望した理由

国家公務員試験を受験後、就職活動を行う中で説明会に参加したことをきっかけに造幣局に興味を持ちました。私は職歴があり、民間企業で商品企画や販売の経験があったため、貨幣セットや金属工芸品の企画・販売を行う造幣局の業務に親近感を持ち、自身の経験や力を発揮したいと思い、志望しました。また、説明会に参加した際に感じた、職員の方々の温かい雰囲気も志望した理由の一つです。

### ●就職活動時のこと（試験勉強や面接で工夫したことなど）

面接で志望動機を伝える際は、自分の強みをどういった部門でどのような業務に生かすことができるかなど、具体性を持って話すよう意識していました。また、話す内容を事前に固めすぎず、その場で聞かれたことに対して素直に自分の言葉で伝えるよう心掛けていました。

### ●現在の業務内容

広報課で主に『時報』（造幣局社内報）の制作を担当しています。『時報』は毎月発行しており、月毎の企画立案や関係先への取材、構成や原稿作成などを行っています。取材を通して局内の様々な部門との関わりが多く生まれるため、造幣局の事業をより知ることができる、やりがいのある業務だと感じています。他にも、メディアからの取材対応や外部イベントへ出張した際の運営業務等も行っていきます。

### ●入局前後のイメージの変化

公務員ということもあり、ルーティンのような決まった業務が多いのでは、というイメージがありました。しかし、実際は自分の考えやアイデアを取り入れながら柔軟に進めていけるような業務もあり、楽しみながら取り組むことができています。

### ●職場の雰囲気（指導員や上司との関係、どのようにして職場に慣れたか）

分からないことがあった時や困った時は、すぐに質問できる環境です。入局してすぐの頃、様々な部署の先輩方から何気なく声をかけていただく機会も多くありました。部署の垣根を越えて、話しやすく頼りやすい雰囲気だと思います。また、できるだけ様々な部署の方々と関わりを持って顔を覚えてもらえるよう意識していました。

### ●造幣局で仕事をしていく中での目標

現在の担当業務のプロフェッショナルになりたいという思いはもちろん、その他の部門でも活躍できる職員になりたいです。幅広い造幣局の事業をより深く知り、多くの部署や人と関わりを持って、多くの方から頼られるような人になりたいと考えています。



事業部 販売事業課 係員  
令和7年  
【一般職（行政）】

## Message 学生みなさんへ

国家公務員と一口に言っても多くの選択肢があり、進路に迷っておられると思います。説明会に積極的に参加したり、信頼できる人に相談したりして、自分の納得のいく答えを見つけてください。しんどいことも多いと思いますが、たまには息抜きもして頑張ってください！造幣局に就職された際には、一緒に頑張りましょう！

### ●造幣局を志望した理由

貨幣の信頼を守り、経済の根幹を支えるような仕事がしたいと思い、造幣局を志望しました。また、他の省庁と異なり、記念貨幣等の製造販売を行うといった民間企業のようなチャレンジ精神あふれる業務に携わることができる点にも魅力を感じました。加えて、説明会などに参加した際の職員の方々の雰囲気が心地よく、一緒に働きたいと感じた点も大きいです。

### ●就職活動時のこと（試験勉強や面接で工夫したことなど）

筆記試験に関しては、過去問集を一冊購入してそれを全て解けるようにしておけば問題ないと思います。面接に関しては、自分自身の言葉で話さないと面接官に人となりが伝わらない点と、自分の性格に合った職場で働きたいという点から、なるべく自然体で臨むことを意識しました。

### ●現在の業務内容

私が所属している販売事業課では、造幣局で販売している製品の販売実績や作業実績の入力、金属工芸品の受注・発送に係る事務、ミントショップ（造幣局構内の販売所）で販売する製品の準備や書類作成などの業務を行っています。また、倉庫内の在庫管理も担当しており、さいたま支局や広島支局の販売担当職員と連絡を取り合い、在庫切れを起さないよう、本支局間での在庫移動を行っています。

### ●入局前後のイメージの変化

採用区分上、業務内容は事務作業ばかりだと思っていましたが、製品の準備や資材搬入出の立ち合いなど、机の上だけでは完結しないものが多くありました。また、入局前までは事務所と現場の間で壁があるのではないかと考えていましたが、現場の方々は優しくフランクに接してくださり、とても働きやすい環境です。

### ●職場の雰囲気（指導員や上司との関係、どのようにして職場に慣れたか）

配属当初は右も左も分かりませんでしたが、同じグループの上司や先輩方をはじめ、他のグループの方々も親身になってご指導くださり、事務そのものだけでなく、仕事の進め方や仕事に対する姿勢を身に付けていくことができました。また現場の方々も、製品への理解が乏しい私に対して、実際に製品に触れて学ぶ機会をくださいました。

### ●造幣局で仕事をしていく中での目標

今後、様々な部署に異動することになりますが、その先で知識を吸収し、早く一人前の職員になりたいです。また、局全体の仕事についての理解を深め、局に貢献できる人材になるために、今は自分の業務を丁寧かつ確実に進めていきたいです。

### ●造幣局を志望した理由

私が造幣局を志望した理由は大きく二つあり、一つは就職活動を行う上で、「一人でも多くの人のために働く」ことができる仕事がしたいということと、もう一つは伝統ある仕事がしたいということでした。この二つの軸を持って就職活動をしているときに、造幣局が目にとまりました。私たちが日常的に触れている硬貨の製造に携われること、明治4年から続く場所で仕事ができることは、私自身とても魅力に感じたからです。

### ●就職活動時のこと(試験勉強や面接で工夫したことなど)

技術系(理系)の筆記試験は、参考書が少なく、何から勉強を始めればよいのか、試験範囲だけを見てもよく分からなかったため、過去問を見て、毎年の合格点から逆算し、勉強を進めました。面接については、想定問答を用意するだけでなく、面接官とコミュニケーションを取ることを意識していました。

### ●現在の業務内容

情報システム課でシステム管理を担当しており、職員が日々の業務で使用するパソコン及び情報処理機器等の管理・調達が主な業務です。また、業務中のパソコンの不具合等にも対応しています。専門的な知識を必要とする場面も多くありますが、丁寧に上司・先輩の方が教えてくださったり、定期的に気にかけてくださったりするので、安心して業務に臨むことができます。

### ●入局前後のイメージの変化

入局前は、「造幣局=貨幣製造」という認識が強かったのですが、入局後は、新規採用職員研修での現場研修などから、貨幣製造の他にも幅広い業務があることを知りました。また、多くの人と関わりながら仕事ができるということも、とても新鮮に感じています。

### ●職場の雰囲気(指導員や上司との関係、どのようにして職場に慣れたか)

とても雰囲気が良く、困ったことがあれば、上司・先輩方が業務のことに限らず相談に乗ってくださいます。また、研修を通して同期とのつながりを持つことができるので、それぞれの部署に配属された後でも安心して業務に取り組むことができる点も、職場の雰囲気の良さに結びついていると思っています。

### ●造幣局で仕事をしていく中での目標

様々な部署への異動を経験し、それぞれの部署で新しい業務に携わりながら、知識・技能を習得し、周りの人から頼られる職員になりたいです。そのために、今取り組んでいる業務がどの規程に基づくものかを理解しながら、業務を行う必要があると考えています。



総務部 情報システム課 係員  
令和7年

【一般職(デジタル・電気・電子)】

## Message 学生のみなさんへ

皆さんが思っている以上に造幣局は多岐にわたる業務を行っているため、少しでも興味を持っていたら幸いです。就職活動は、自分自身の進路を決める上で大きな選択になると思いますが、たくさん悩んで、自分なりの正解を見つけてほしいと思います。

### ●造幣局を志望した理由

国家公務員の合同説明会に参加したことがきっかけです。大学では化学を専攻していたので、製造業で生かせる知識があるかもしれないということや、本局が大阪にあることに魅力を感じました。説明会で職員の方々の話を聞いて、自分に合った働き方ができるのではないかと感じ、造幣局を志望するに至りました。

### ●就職活動時のこと(試験勉強や面接で工夫したことなど)

筆記試験については大学での知識をしっかり復習して幅広い分野の基礎を固めておくことが大切だと思い勉強していました。過去問などを解いておくことで、落ち着いて本番に挑むことができました。国家公務員試験や官庁訪問のスケジュールをしっかりと確認しておくことも大切なことだと思います。

### ●現在の業務内容

私が所属している試験鑑定課では、貨幣や勲章の材料となる金属の品位(純度)の分析や、品位を証明する記号(ホールマーク)を金属工芸品に打刻する作業を行っています。また、工場排水に有害物質が含まれていないかどうかの分析もしています。私はそれらの作業が円滑に進むように、薬品や器具の購入、事務書類の作成、分析機器の修理点検、分析試料の受け払いなどを日頃の業務として行っています。

### ●入局前後のイメージの変化

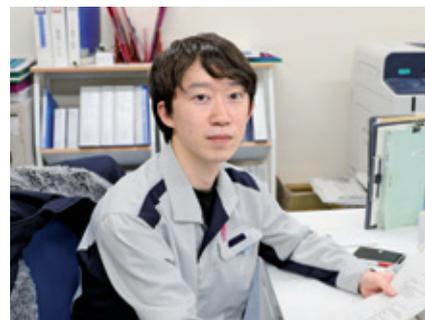
入局前は貨幣製造の印象が強かったのですが、入局後は貨幣製造以外にも様々な業務があることを知りました。また、デスクワークだけではなく現場での作業を手伝うこともあり、部署ごとの特色でいろいろな業務の幅があることを知りました。

### ●職場の雰囲気(指導員や上司との関係、どのようにして職場に慣れたか)

試験鑑定課では分析作業を行う現場職員とそれを支える事務職員が協力して業務を行っています。誰でも気軽に質問できる雰囲気があり、安心して分からないことを聞くことができます。局内では季節ごとに催し物が開催されるので、所属部署を越えて交流できます。

### ●造幣局で仕事をしていく中での目標

まずは、担当業務をしっかりとこなせるように頑張っていきたいです。業務をしていく中で経験を積み、様々な視点から物事を観察できるような人材になりたいと考えています。また、必要に応じて業務を改善したり効率化させたりできるような能力を身に付けて成長していきたいです。



研究所 試験鑑定課 係員  
令和7年

【一般職(化学)】

## Message 学生のみなさんへ

様々な企業や官庁の説明会に参加して、自分が働きたいと思える場所を探し出せるように頑張ってください。何か興味のある分野などがあれば、恐れずにチャレンジしていくことも大切だと思うので、悔いのない学生生活を過ごしてください。

# 先輩からのメッセージ 入局して間もなく10年。今、感じることに！



事業部 装金極印課 主任  
令和2年  
【総合職（工学）】

## 貨幣の製造に携わること

### ●現在の業務内容

装金極印課では、主に種印や極印と呼ばれる、貨幣やメダルの模様となる金型の製造を行っています。造幣局の製造部門には「現場」と「事務所」という区分があり、「現場」では実際の製造作業を、「事務所」では製造に必要な事務作業を行っています。その中で私は「事務所」で勤務しており、作業伝票の作成、物品の受け渡し、機械の購入・修理・保守点検に係る資料の作成、及び作業報告書の作成などの仕事を主にしていますが、これ以外にも現場で突発的な問題が発生した場合には、臨機応変に対応しています。

### ●仕事をする上で心掛けていること

仕事をする上で心掛けていることは、コミュニケーションの大切さを常に意識することです。相手の話を丁寧に聞き、自分の考えも分かりやすく伝えることで、誤解を防ぎ、円滑に仕事を進めることができるよう努めています。また、責任感を持って仕事に向き合い、状況に応じて柔軟に行動することも重要だと感じています。

### ●これまでの仕事で印象に残っていること、やりがいを感じたこと

やはり、自分の課で製造した種印や極印（金型）を使用して作製された貨幣やメダルが発行されたことが一番印象に残っています。私は事務職員のため、実際に自分の手で金型を製造しているわけではありませんが、間接的であっても自分が仕事で携わった製品が世に出て、皆様に喜んでもらっているのを見聞きすると、大変うれしく思いますし、この仕事をしていてよかったなとやりがいを感ずきます。

### ある日のスケジュール

8:00	出勤・朝礼
8:15	メールチェック・返信
8:45	作業伝票の作成
10:00	物品の受け渡し
12:00	昼休み
13:00	作業報告書の作成
15:00	決裁の作成
16:30	退庁

## Message 学生のみなさんへ

就職活動は不安なことも多いかと思いますが、せっかくの機会ですので、自分を信じていろいろな分野に挑戦してみてください。その中で造幣局に興味を持っていたら、ぜひ業務説明会や工場見学、職業体験プログラムなどに参加していただければと思います。皆さんにお会いできるのを楽しみにしています。

## Message 学生のみなさんへ

「百聞は一見にしかず」ですので、積極的に説明会等に参加することをお勧めします。造幣局は、製造・販売業務にも携わることができる公務員としては珍しい組織であり、他の組織では経験できない業務が多くあります。業務説明会や工場見学を通して業務内容を知っていただき、造幣局の雰囲気も感じていただければと思います。

### ある日のスケジュール

9:00	出勤・メールチェック
10:00	収支見込みの作成
12:00	昼休み
13:30	予算策定に係る打ち合わせ
15:00	幹部レクチャー
17:30	退庁

## 組織経営の一端を担う

### ●現在の業務内容

経営企画課では、「組織機構や配置人員枠の見直し」「予算や収支見込みの作成」「施設及び設備投資に関する計画の策定」等の造幣局経営に関する業務を行っています。その中で、私は主に予算や収支見込みの作成業務を担当しています。予算や収支見込みは経営判断の材料として重要なものであり、様々な情報を総合的に勘案した上で適切に作成することが求められます。そのため、組織内部の動向について把握するのはもちろんのこと、社会情勢などについても普段から情報収集するようにしています。

### ●仕事をする上で心掛けていること

業務の目的や意図を意識しながら取り組むことを心掛けています。業務の中には前例踏襲で進められるものもありますが、過去の進め方が本当に効率的なのか、自分の知識や経験を生かしてより良い結果を導くことはできないのか、ということ意識して業務パフォーマンスの向上を目指しています。何か気づいたことがあれば上司や同僚に相談し、様々な人の意見も取り入れながら改善するようにしています。

### ●これまでの仕事で印象に残っていること、やりがいを感じたこと

出向先の財務省において、国家予算と財政関連の法令との整合性を確認する業務に携わっていました。業務を進めるには法令をよく理解する必要があるため、担当者へ聞き取りを行ったり、法令の解説書を読み込んだりしたことを覚えています。日本の中枢機関で働くことはプレッシャーもありましたが、その分やりがいも大きかったです。財務省での経験は自分自身が成長する良い機会になったと感じており、集めた情報を整理して分かりやすく説明する力は、現在の造幣局での業務においても役立っています。



総務部 経営企画課 係員  
令和2年  
【一般職（行政）】



広島支局 保全課 主任  
平成 28 年  
【一般職 (デジタル・電気・電子)】

### 設備の安全稼働を第一に

#### ●現在の業務内容

広島支局保全課では、工事の設計・監督、建物・機械設備の点検修理、そして電気・ガス・水道等のライフラインや樹木の維持管理に関する業務を行っています。私の担当は主に、各設備の保守点検作業を外部業者へ委託する際、仕様書の作成など発注に向けて手続きをして、施工監督を行うことです。また、広島支局にのみ設置されている溶解・圧延設備は、貨幣製造の最初の工程で使用される重要な設備であることから、予防保全体制を導入し安定稼働に努めています。その一環として各職場と修理作業の実施状況の確認を行う会議を定期的で開催しており、会議資料の作成も行っていきます。

#### ●仕事をする上で心掛けていること

業務の性質上、毎年行っている設備の点検の手続き等、前例踏襲で進めることが多いのですが、なぜこの点検を行わないといけないのか、しっかりと自分の中で整理し、落とし込んでから手続きを進めるようにしています。前回も同じように実施しているからという気構えで済ませてしまうと自分の成長にもつながりません。

#### ●これまでの仕事で印象に残っていること、やりがいを感じたこと

広島支局に転勤し、配属となった貨幣第一課での仕事です。早番と遅番の2交替制勤務という少し特殊な環境の中で、製造部門の仕事に初めて携わるということもあり、不安でいっぱいでした。製造ラインが一つしかない設備もあり、不具合により機械が停止してしまうと後工程にも大きな影響を与えてしまうため、安定稼働が何より求められる部署でした。必要な修理・点検の実施、部品の購入に係る事務作業が多く、苦勞することも多々ありましたが、上司や現場職員の方とコミュニケーションを取りながら、一つ一つ確実に実施していき、各工程の抱える問題を解決していった日々は、今でもとても印象に残っています。

#### ある日のスケジュール

8:30	出勤
9:00	設備点検の立ち会い
12:15	昼休み
13:00	仕様書の作成
14:30	製造部門との会議
17:00	退庁

### Message 学生のみなさんへ

貨幣を取り巻く環境はこの数年で大きく変化していますが、造幣局はそのような時代の変化を受け入れつつ新たな課題に挑戦していこうとしており、いろいろなことにチャレンジできる環境が整っています。造幣局のモノづくりに興味を持たれた方、チャレンジ精神あふれる方、ぜひ一緒に働いてみませんか。



研究所 研究開発課 主任  
平成 29 年  
【一般職 (化学)】

### 造幣局の技術力向上への貢献

#### ●現在の業務内容

研究開発課では、造幣局の事業に関する技術の研究をしています。その中で、私は金属の分離・精製に関する調査研究等を行っています。研究を進めるにあたっては、論文を読んだり、学術学会へ参加したりして、現在の研究がより進展するよう情報収集に努めるとともに、収集した情報を活用し、研究チームのメンバーと協力しながら、造幣局の技術力向上に貢献できるよう日々研究に励んでいます。

#### ●仕事をする上で心掛けていること

報連相を大切にしています。こまめに上司や同僚、関係部署等とコミュニケーションを取ることで、円滑に業務を進めることができているからです。また、上司からの指示等で不明な点がある場合は必ず確認するようにし、齟齬が生まれトラブルやミスにつながらないように心掛けています。

#### ●これまでの仕事で印象に残っていること、やりがいを感じたこと

財務省への出向も含めて、これまで様々な部署を経験しましたが、現在所属している研究開発課での調査研究が印象に残っています。研究を進めていくうちに、思いどおりの結果が得られないことが何度かありましたが、自分の考えだけにこだわらず、上司や同僚の意見も取り入れながら対応策を考え実行し、良い結果が得られたときは大きな達成感がありました。改めて、固定観念にとらわれず多角的に物事を考える大切さを学びました。

#### ある日のスケジュール

8:00	出勤・メールチェック
8:15	課内ミーティング
9:00	研究チームで実験内容に関する打ち合わせ
9:30	実験開始
12:00	昼休み
13:00	実験結果まとめ・考察
15:00	決裁文書の作成
16:30	退庁

### Message 学生のみなさんへ

造幣局に少しでも興味がある方は、ぜひ業務説明会や工場見学に参加してみてください。パンフレットの情報だけでは分からない造幣局の雰囲気を肌で感じることでできる良い機会だと思います。皆さんと一緒に働くことができるのを楽しみにしています。